

小中一貫教育だより

「つなぐ」

～中学校区の実態に応じた取組を求めて～

- 目標をつなぐ
 - カリキュラムをつなぐ
 - 子どもの心をつなぐ
 - 教職員の意識をつなぐ
 - 家庭・地域の絆をつなぐ
- 「小中一貫教育！」



令和5年度 No.3 (2023.6.5)
担当：熊本市教育委員会事務局
学校教育部指導課

各中学校区の取組をつなぐ

今年度の「幼小中連携」と「小中一貫教育」の見通しを確認！ ～持続可能な取組として～

今年度、小中一貫教育モデル校の花陵中校区では、5月17日（水）校区校長会が開かれ、6月の「幼小中連携の日」の前に、今年度の「幼小中連携」と「小中一貫教育」の見通しを確認されました。

これまでの教育活動を生かし、保護者に啓発しながら、持続可能な小中一貫教育を実践される予定です。

花陵中学校区（古町小、春日小、白坪小、花陵中）

6/9（金）第1回幼小中連携の日

カリキュラム部会にて、小中一貫で取り組む道徳の重点内容項目をもとに検討する。

11/（期日未定）第2回幼小中連携の日 ← 11/29（水）を前倒して実施

各小中学校で、共通の重点内容項目の道徳の指導案を作成し、情報交換を行う。

11/11（土）花陵中学校「親子道徳の日」

12/5（火）古町小学校「親子道徳の日」

12/8（金）春日小学校・白坪小学校
「親子道徳の日」

各学校の「親子道徳の日」を活用し、共通の重点内容項目で道徳の授業を公開し、小中一貫教育の取組を保護者に啓発する。



花陵中校区校長会の様子

3学期・春日小、古町小、白坪小の6年生の児童が、白坪小体育館で交流会を行い、仲良くなった後、一緒に花陵中学校へ登校し、中学校での体験入学に参加する。

小学校の教員はずっと小学校の教員、中学校の教員はずっと中学校の教員を務めるケースがほとんどですが、**小学生の保護者はいずれ中学生の保護者となります。**もとより地域住民は小学校だけ、中学校だけを見ているわけではありません。その意味では、**保護者や地域の視点から見れば、中学校区を単位として学校教育を充実させる取組**は、それを小中一貫教育と呼ぶかどうかは別として、**言わば当然の帰結**であると言えます。p28

小中一貫教育が息の長い取組であることを考えると、継続的に改善を進める体制が整っているかは、小中一貫教育の導入が成果をあげられるか否かを左右するものと言えます。p102

文部科学省「小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引」より抜粋

Ctrl+クリックを！